【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和3年2月25日(2021.2.25)

【公開番号】特開2020-200953(P2020-200953A)
【公開日】令和2年12月17日(2020.12.17)
【年通号数】公開・登録公報2020-051
【出願番号】特願2019-105837(P2019-105837)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｃ　7/04　(2021.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｃ　7/04　３０１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和3年1月15日(2021.1.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
本体と、前記本体の前面に開口を有する調理庫と、前記調理庫の上部に設けられる上ヒータと、前記調理庫の下部に設けられる下ヒータと、前記下ヒータと前記上ヒータとの間に配置される被加熱物が載置される皿と、を備え、
解凍工程を有し、前記解凍工程では前記上ヒータで前記被加熱物を加熱する、加熱調理器。
【請求項２】
請求項１に記載の加熱調理器において、
前記解凍工程と焼き工程とを有し、前記解凍工程では前記上ヒータで前記被加熱物を加熱し、前記焼き工程では前記下ヒータで前記被加熱物を加熱し、前記解凍工程後に前記焼き工程に移行する、加熱調理器。
【請求項３】
請求項１または２に記載の加熱調理器において、
前記皿に接触して前記皿の温度を検知する皿温度センサを備え、前記上ヒータの通電によって前記解凍工程を開始したのちに前記皿温度センサの測定温度が所定温度上昇した場合に前記焼き工程に移行する、加熱調理器。
【請求項４】
請求項１乃至３のいずれか一項に記載の加熱調理器において、
前記解凍工程が終了する際の前記被加熱物の温度は０℃よりも低い、加熱調理器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の加熱調理器は、本体と、本体の前面に開口を有する調理庫と、調理庫の上部に設けられる上ヒータと、調理庫の下部に設けられる下ヒータと、下ヒータと上ヒータとの間に配置される被加熱物が載置される皿と、を備え、解凍工程を有し、前記解凍工程では前記上ヒータで前記被加熱物を加熱するものである。